

# さんまのつぶやき



## 目黒さんぽ 「ホテル雅叙園東京と行人坂」

目黒区の名所として名高い「ホテル雅叙園東京」は、日光東照宮の美学を伝える昭和の豪華な装飾美とモダンなデザインが融合したホテルです。その歴史は、1931年に開業した「目黒雅叙園」に遡ります。当時は料亭としてスタートし、その後、日本初の総合結婚式場として成長を遂げ、創業88年を迎えた2017年にオールスイート仕様のホテルに生まれ変わりました。館内にはレストランと趣のある庭園もあり、宿泊しなくても十分に楽しむことができます。

ホテル雅叙園東京の特筆すべき見所の一つが、東京都指定有形文化財である「百段階段」です。1935年建造の木造建築で、行人坂の急な斜面に沿って建てられており、部屋が階段廊下で繋がっていることからその名が付けられました。階段の両側に連なる7つ部屋は、それぞれ異なるテーマで装飾されています。中には、鏗木清方や荒木十畝など著名な日本画家が手がけた部屋もあります。各部屋の壁や天井には、日本画や漆、螺鈿などの伝統的な技法を駆使した美しいアートが施されています。

この百段階段は、日本の文化や歴史を体感できる場所でもあります。年間を通じて、季節ごとに異なる展示が行われて

おり、訪れるたびに新たな発見があります。これらの展示は、伝統的な美意識を再発見する場であると同時に、現代アーティストとの融合も試みられており、古き良き日本の美と現代の感性が絶妙に交差する空間を提供しています。私が訪れた際には、「和のあかり×百段階段 2024 妖美なおとぎばなし」という企画展が開催されていました。各部屋がそれぞれ御伽話をテーマにした空間アートで埋め尽くされており、展示されている現代アートの一部はショップで購入することもできました。

ホテル雅叙園東京を訪れる際には、ぜひ「行人坂」も歩いてみてください。行人坂は、江戸時代から続く坂で、急な傾斜が特徴です。坂の途中には天台宗の寺院である大円寺があります。坂を下りきったところには目黒川が流れており、太鼓橋が渡っています。江戸時代にはアーチ型の石橋で太鼓の胴を思わせる形でしたが、現在は平らな橋となっています。

ホテル雅叙園東京と行人坂は、歴史と自然、そして文化が交差するとても魅力のある場所です。特に百段階段は、他では味わえない独特の雰囲気を持つスポットですので、ぜひ一度その美しさを堪能してみてください。(竹松 千明)



## contents

- 1 目黒さんぽ  
「ホテル雅叙園東京と行人坂」
- 2 支部長ごあいさつ  
新入会員歓迎会を開催  
小池百合子都知事が  
女性行政書士と語る会に参加して
- 3 初めて支部定時総会に出席して  
東京都行政書士会定時総会・体験記  
東京行政書士政治連盟  
定時大会に思うこと
- 4-5 【特別企画】  
宮本会長インタビュー
- 6 三支部合同研修会  
「信託の基本・相続と後見との  
かかわり」を受講して  
支部研修会  
「災害時における行政書士の  
役割と実務について」  
を受講しました  
《政連目黒支部活動報告》  
目黒区議団に要望書を提出
- 7 《政連目黒支部活動報告》  
目黒区長選挙及び都知事選挙の  
応援活動  
ようこそ目黒支部へ！ 新人紹介  
支部からのお知らせ  
支部会員の異動
- 8 目黒支部の動き  
行政書士無料相談  
政治連盟目黒支部の活動  
編集後記



## 支部長 ごあいさつ

### 目黒支部支部長 中島 貴史

目黒支部会員の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より支部の活動に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。支部長の中島貴史でございます。

昨年 の 定 時 総 会 に お いて 支 部 長 に 選 任 いた だ き、1年 が 経 過 いた しま した。慣 れ ない 職 で は あ り ま すが、支 部 会 員 の 皆 様 や 支 部 役 員 の 皆 様 に ご 協 力 いた だ き、支 部 運 営 を さ せ て いた だ いて お り ま す。

当支部では令和6年度スタート早々から、福島県行政書士会 鶴沼理人会長を講師にお迎えし、「災害時対策研修会」を開催いたしました。東日本大震災という未曾有の大災害発生時には現実がどのようになっていったのか、また現場に出向いた福島県会行政書士の先生方がその現実に対してどのようなご活動をされて行かれたのかという大変貴重なお話を聞くことができました。当日はZoom開催ということで当支部の会員の皆様はもちろん、他支部の会員の皆様にも多数ご参加いただき、大変盛況のうちに終了いたしました。

一方、当支部は令和3年4月に目黒区と「災害時における被災者支援に関する協定」を締結しております。幸いなことに今現在、同協定が想定している大災害は目黒区内で発生はしておりませんが、緊急時対応の体制を構築するにあたり、大いに参考にしていける所存です。

わたし達、目黒支部の執行部は、毎月1回の無料相談会、年2回の広報誌の発行、行政書士広報月間の一環として10月に開催する無料相談会、年初に多くのご来賓をお迎えして開催する賀詞交歓会を主宰していればよいというものではなく、地域との共生、役所との共生、他士業との共生を推進し、地域の皆さまに頼られる「かかりつけ行政書士」となれる様注力し、最終的には支部会員の皆様へ貢献できる様努めていかなければならないと考えます。

また、役所もデジタル化に大きく舵を切っている現在、「デジタル社会に対応できる街の法律家」としての社会的評価と信頼を高めて行ける様、活動して参りたいと存じますので、皆様には引き続きお力をお貸し下さいます様、何卒お願い申し上げます。

結びとなりますが、皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念して、私からの挨拶とさせていただきます。

## 新入会員歓迎会を開催



4月17日(水)JR目黒駅近くのガッセにおいて、新入会員歓迎会が開催されました。

この会は過去何度か開催されましたが、近年はコロナ禍の影響もあり久々の開催となりました。新入会員にとっては業務情報や日頃疑問に思っていることを直接先輩方に聞ける数少ないチャンスだったと思います。

是非これからも続けていただきたいと思います。

## 小池百合子都知事が 女性行政書士と語る会に参加して 劉 瑛

3月29日、午前中は強風ですごい天気でしたが、お昼から晴れて一気に暖くなりました。午後2時過ぎに京王プラザ44階の会場に着くと、もう70名近い女性の行政書士が一堂に会し、八つのテーブルがほぼ埋まっています。

開会30分後の3時ごろ、定例の金曜日の記者会見を終えた小池都知事が到着し、大多数が黒や紺の服装で占められている中、淡いピンクのツーピスドレスで現れ、とても若々しく見えます。

これまでやってきたこと、これから東京都の発展に関してやっていくことや、女性、子育て支援の具体策など、穏やかな声でゆっくりゆっくり落ち着いたスピードで話されました。女性が家庭とキャリアを天平に載せなくてもよい社会を作るとかも話題になりました。実現するにはまだ時間がかかると思いますが、前向きの姿勢がまず大事ですね。

東政連はこういう語る会ををアレンジしただけではなく、紅茶やイチゴケーキも用意してくれて、すっかり「女子会」の雰囲気になり、1時間半はあっという間に過ぎました。



## 初めて支部定時総会に出席して 田家 修

年を取って少しでも地域の役に立つことをしたいと思って行政書士登録をし、目黒支部の定時総会に初めて出席させていただきました。ロートルの身には、今まで経験したことのないようなことで、これを総体的に、自分でもどう評価してよいのか良く分かりませんが、とにかく質問時間に制限をかけて時間を過ぎるとマイクの音を消してしまうといった、どこかで行われたようなことがなかったのは、よかったですのではないかと思います。

執行部の方が、質問に対して十分にうまく応えられてないような感じもあり、もう少し準備も含めて慣れていただいで、次からは建設的な議論ができるようにしていただきたいという思いもいたしました。(行政書士として経験を積まれ



た方に、未熟者として、失礼な言い方になると思いますが、どうかお許しください。)

私のような立場の人間は少ないでしょうし、他の様々な立場の方が当然多くいらっしゃると思います。今後とも、目黒支部が様々な立場の方に開かれ、会員の皆様相互の利益の増進に寄与していただくように、よろしくお願ひしたいと思ひます。

## 東京都行政書士会定時総会・体験記 広報部員 片山 雅文

天気予報ははずれ、快晴が広がった。5月29日、JR中野駅近くのなかのZERO大ホールで行われた東京都行政書士会の定時総会に初めて出席した。目黒支部の新入会員歓迎会で勧められ、支部総会で思い切って代議員選出に手を挙げた。

750人近くが参加し会場は支部ごとに席が割り当てられており、目黒支部のメンバーが陣取ったのは中央前方だった。第1部の式典では、「かかりつけ行政書士」をスローガンに行政書士の役割拡大を進めてきた宮本重則会長が「デジタル対策を最優先に制度設計を加速させたい」とあいさつ。

都議会の開会日と重なったため小池百合子知事が出席できなかったのは残念だったが、「都政の円滑運営に寄与してもらっており、重要性はさらに増している」との知事メッセー



ジが紹介された。

第2部では予算案など議案を確実に可決承認。会の運営についてただず質問もあったが、混乱なく順調に進行した。冷静かつ整然と議事を進めた益子光宣議長の手腕に感心した。

「来年は会長の改選期だから、こうすんなりとはいかないよ」。総会初体験の余韻に浸っていると先輩からこう教えられ、早くも来年の総会への興味が湧いてきた。

## 東京行政書士政治連盟定時大会に思うこと 広報部長 村中 巴

5月29日、今年も東京都行政書士会 定時総会終了後「東京行政書士政治連盟 定時大会」が開催されました。

令和5年度の活動報告及び決算報告等に続き、令和6年度活動計画(案)及び収支予算書(案)が出席代議員によって承認されましたが、質疑応答の際に某支部の代議員から支部交付活動費の支給に関し、支給がなかったとの質疑が出されました。応答では「支部交付活動費については、幹事会で支給するか否かを決定すると変更になった」とのこと。理由としては、そもそも交付活動費は政連関係の活動を行ったという事実に対して交付されるものであるということでした。振り返ってわが支部の状況を考えると異議を唱える余地さえありません。



また、今回は規約の一部改正(案)が承認されました。特筆すべきは第7章に賞罰が新設されたこと。連盟に多大な功勞が認められる会員に対しては表彰を行う一方、連盟の目的に違反したり、名譽を毀損する行為をした会員に対しては懲戒処分を行うことができるようになりました。規約の改正は、普段の会員の行動が反映された結果と考えさせられた大会でした。



## 【特別企画】

# 宮本会長インタビュー

聞き手：片山 雅文、茂田 陽子

写真：木佐木 慶子

企画：村中 巴

宮本重則（みやもと・しげのり）

昭和45年生まれ。青山学院大学法学部卒。平成15年行政書士事務所開設。東京都行政書士会文京支部長、東京都行政書士会副会長などを経て令和3年5月より現職。日本行政書士会連合会常任理事・総務部長。

「かかりつけ行政書士」をスローガンに、令和3年5月の就任以来、行政書士の地位向上やデジタル対策などさまざまな改革を進めてきた東京都行政書士会の宮本重則会長。この3年間の成果について振り返ってもらい、将来に向けた思いを聞いた。

— 2期4年の任期のうち3年余りが経過しました。これまでの成果についてご自身はどのように評価されますか。

「まだまだ100%とはいきません。やり残しも多いですが、少しは前に進んだかなとは思っています。警視庁や消防署などに（行政書士の職権を明示する）プレートが設置されるようになったのも、会員の皆さんのご理解と、本会与政連（東京行政書士政治連盟）が一体になって進めた成果だと思います。以前より減ったとはいえ、ブローカー等による無資格申請はまだ多く、正常化に向けた動きはさらに進めていきたいです」

— 施策面では宮本会長が小池百合子知事と電話で直にやり取りできるなど東京都と良好な関係を構築したことも大きいですね。

「おっしゃる通りです。プレート設置の実現は都との良好な関係を抜きには語れません。都も当会の活動を評価してくださり、島しょ部での無料相談会などきめ細かい対

応に感謝してもらっています。都との良好な関係ではやはり、先の知事選で小池知事が3選を果たされてよかったと思います。築いてきた信頼関係を維持・発展させ、行政書士の地位や認知度の向上につなげていきたいですね」

— 行政書士の職域・職権に関し、例えば相続放棄や民事調停で行政書士が代理人になれないものかという質問も寄せられました。

「職域・職権の拡大については全く同感です。具体例でいうと、産業廃棄物業の許可申請で前年度決算が赤字の場合でも疎明資料を行政書士が作成できるように東京都に働きかけています。法律で権限が定められていたり、当然、他土業の猛反発もあるでしょうから簡単にはいきませんが、将来的には少しでも広げたいですね。

紛争解決の手段として注目を集めているADR（裁判外紛争解決手続き）が一つの突破口になるのではと思いますし、東京家裁立川支部では成年後見の関係書類に行政書士欄が設けられました。これらが司法分野に参入するきっかけになればと思います」

— デジタル対策を喫緊の課題として挙げておられますが、会員へのサポートはどのようにお考えですか。

「確かに会員間のデジタルデバインド解消も課題です。会

員向けの研修などを検討したいと思います。行政書士会全体としてレベルアップを図らないと組織の信用度アップにはなりませんからね。5月の定時総会で電子証明書の登録料が行政書士は他士業よりも高いという質問がありましたが、行政書士は守備範囲が広く、電子証明書がなくても紙で仕事ができるジャンルが多い。電子申請の利用率が他士業より低いことも登録料が高い原因となっています。この辺りも含めて対応を考えていきたいですね」

—職務上請求の不正使用事件を機に導入された倫理研修について聞かせてください。

「他県で起きた事件でしたが、東京も巻き込まれて対応に苦労しました。総務省からは『行政書士への職務上請求書の発行をやめる』という意見まで出されましたが、倫理研修を必修にするなど防止策を徹底することで何とか乗り切ったのは大きかったと思います。研修の受講率もだんだんと上がってきており、現在では90%くらいまで行っていますが、さらなるアップを目指します」

—今年元日の能登地震で甚大な被害が出ましたが、東京でも大規模災害への危機感がこれまで以上に高まっています。大会として対応はいかがでしょうか。

「傘下の33支部と災害協定を結んでいるほか、都や23区とも連携し、ワーキンググループを常設して支援体制などを協議しています。23区の東部は住宅密集や地盤の影響で大きな被害が予想され、コミュニケーションを密にして大規模災害時に備えています」

—この先1年間でこれだけはやりたい、必ずこれをするというテーマがあれば教えてください。

「これまでの改革施策を推し進めるのはもちろんですが、実はある国の大使と面会したんです。話してみて感じたのは、行政書士に対する認識が日本国内のそれよりも明らかに高いですね。多くの国では行政書士の仕事について『事務弁護士』のような認識を持たれている。そうした海外の反応や声を日本にフィードバックして、国際化業務で行政書士の地位向上や職域拡大につなげていきたいというのがあります。これからも様々な国の在日公館幹部と会って関係を作っていきたいと考えています。

もう一つは医療分野です。許認可や諸手続きなどすべてが行政書士の業務なんですね。ところがここでもブローカー暗躍の実態があります。正常化に向けて医療機関との関係を強化させたいと思い、医師会や医療法人との連携を進めているところです。

—本日はお忙しい中、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。(片山 雅文)



片山 雅文



茂田 陽子



木佐木 慶子



村中 巴

## 三支部合同研修会「信託の基本・相続と後見とのかわり」を受講して 広報部員 木佐木 慶子

令和6年7月19日(金)、大井町駅前のきゅりあんにて、「信託の基本・相続と後見のかかわり～初めて信託の話を知る人もわかる基本と行政書士としての業務内容と受任の方法～」が開催されました。

講師の松尾先生は、商事信託以外の営利目的ではない財産を持っている人との信頼関係で成り立つ信託を親愛信託と呼びます。遺言は財産所有者の死後に効力が発生するため、生前には相続対策の恩恵が受けられません。信託であれば、財産所有者が生前に財産の管理を受けるという恩恵を受けられるため、財産所有者にとって遺言より受け入れやすくなります。また、死後も財産がどのように利用・管理されるのかを法の規定に従うより思う通りに定めることができます。



行政書士として、依頼者の要望に応えるために、既存の相続対策である遺言や任意後見契約だけでなく、財産管理と相続対策の両方を目的とする親愛信託についても学ぶ必要性を認識させられる有意義な研修でした。

## 支部研修会「災害時における行政書士の役割と実務について」 を受講しました 広報部員 茂田 陽子

令和6年4月15日(月)に開催された目黒支部研修会では、福島県行政書士会 会長の鶴沼理人先生を講師にお迎えし、災害時における行政書士の対応を貴重なご経験のもとにご講義いただきました。

その中でも、東日本大震災では福島県行政書士会の事務局が被災され、当時役員だった方々が荷物を運び出して事務所を移転。地震はもちろん原発事故の被害にあわれた支部がありながらも、各支部において被害者支援の相談窓口を開設されたそうです。

また、福島県行政書士会は会員の被災状況について各

支部と連携して確認を行い、会員へお見舞金を支給されたそうです。

鶴沼先生は実際に自動車の抹消登録手続き、罹災証明書や損壊家屋等の解体撤去申請の相談及び窓口対応、その担当者のシフト表を作成された他、いわき市との協議にもあたられたとのことでした。

研修会の最後に、鶴沼先生は災害対応の経験を外部に発信できるような記録の編纂が大切と仰っていました。ご経験を踏まえたその記録は私たちにとって頼もしい指針となることでしょう。

## 《政連目黒支部活動報告》 目黒区議団に要望書を提出 総務部長 浅見 雄介

令和6年8月26日(月)に自民党目黒区議団の方々、また8月30日(金)には公明党目黒区議団の方々にお時間を頂き、東政連目黒支部として、予算要望書の提出を行いました。

当支部の要望事項としては主に4つあり、

- ①死後事務委任の制度化
- ②目黒区との防災協定のさらなる拡充
- ③目黒区役所内のお悔やみコーナーの拡充
- ④目黒区在住の外国人相談窓口の常設化

といったものです。両党の区議から多数の質疑があり、他支部との比較や事例、具体的な協議内容に関する議論が行われ、行政書士の活用による区政へのサポートについて非常に興味を持って頂き、かつ区民の声に対していかに行政書士が役立つことができるか、ということについて大いに理解を頂いたものと感じています。



《政連目黒支部活動報告》

目黒区長選挙及び都知事選挙の応援活動

7月7日(日)は通称『夏の陣』と言われる都知事選挙投票日。候補者は過去最多の56名に及びましたが、蓋を開ければ現役の小池百合子氏が圧倒的な得票数で当選されました。また4月21日(日)の目黒区長選挙においては、若手の挑戦者を退けた青木英二氏が当選され、区長として6期目を迎えられました。いずれの選挙においても、政連目黒支部の会員が可能な限りの応援活動を行ないました。



ようこそ目黒支部へ！

新人紹介



井町 雅一

目黒支部のみなさま、はじめまして。REMMA 行政書士事務所の井町と申します。自由が丘にて開業しております。私は行政書士の傍ら、航空会社でも勤務しており企業法務担当として日々契約書チェックやリーガル相談に従事しております。このため行政書士業務では各種契約書の作成業務を中心に据えようと思っておりますが、司法書士法人での勤務経験もあり設立や相続もお手伝いできればと思っております。行政書士業界の発展に目黒支部の皆さまとご一緒できればと思っております。まだまだ若輩者ですので、諸先輩の皆さまのご指導・ご鞭撻を頂戴できればと思っております。



村上 久徳

3月15日付にて行政書士登録、入会しました村上久徳と申します。前職は製造業向けのコンサルティングファームで人事職として約14年従事しておりました。20代後半から4年間は行政書士補助者としての勤務経験があるのですが、いつか行政書士として独立したいとの思いが常にありました。開業まで時間がかかりましたが、今後は許認可業務を中心として多くの企業様のお手伝いをしたいと思っております。皆様ご指導の程宜しくお願い申し上げます。



宮内 悠衣子

中目黒で約10年司法書士として開業をしており行政書士との兼業です。相続や成年後見をメインとしており行政書士登録をすることで業務の幅が広がると思っております。



前田 充康

会社勤めを終えて、5月1日に入国、在留関係の仕事を中心に開業いたしました。なにぶん、不慣れなものでございます。ご指導、ご鞭撻、よろしくごお願い申し上げます。

支部会員の異動

2024年8月1日現在の  
目黒支部会員数は **143** 名です

登録 転入	益子 千波*	目黒区下目黒 3-2-3-301	03-6420-3042	転入・10月(千代田支部より)
	井町 雅一	目黒区緑ヶ丘 2-14-16-308	090-8008-7068	登録・2月
	村上 久徳	目黒区自由が丘 1-14-2-301	03-6421-2312	登録・3月
	前田 充康	目黒区東山 1-30-4-202	03-3793-1436	登録・5月
	宮内 悠衣子	目黒区中目黒 1-4-18-803	03-6451-0686	登録・5月
	富永 大祐	目黒区洗足 2-24-15-201	090-6188-6508	転入・6月(立川支部より)
	尾崎 昭則	目黒区自由が丘 2-13-4-403	03-6421-3416	転入・6月(渋谷支部より)
変更	佐藤 雄一	目黒区目黒本町 6-22-3-201		変更・1月
	増田 朝子	目黒区目黒本町 1-16-22-1F		変更・6月
転出 廃業	加賀 英夫	廃業		2月
	今村 隆二	廃業		2月
	村上 睦子	転出		4月(千代田支部へ)
	小澤 恒彦	廃業		4月
	牧野 直明	廃業		6月
	大川 翔	転出		7月(新宿支部へ)
工藤 大介	廃業		7月	

※情報の確認が遅れたため本号での掲載となりました

## 目黒支部の動き 2024.3～2024.8

- 3月7日 三支部合同研修会反省会に参加
- 3月15日 支部役員会を開催
- 3月21日 六支部合同研修会に参加
- 3月25日 会計部会を開催
- 4月5日 支部会計監査を実施
- 4月5日 支部役員会を開催
- 4月15日 支部研修会を開催
- 4月17日 新入会員歓迎会を開催
- 4月25日 支部定時総会を開催
- 5月10日 支部役員会を開催
- 5月29日 東京会定時総会に参加
- 6月4日 広報部会を開催
- 7月10日 支部役員会を開催
- 7月19日 三支部合同研修会を開催(目黒支部幹事)
- 8月31日 広報第47号「さんまのつぶやき」を発行

## 行政書士無料相談 2024.3～2024.8

※無料相談は、今年度より  
毎月第4金曜日の13:00～16:00に  
目黒区総合庁舎で行われています。

- 3月4日 百瀬 まなみ 齊藤 愛
- 4月26日 眞鍋 和史 及川 貴裕
- 5月24日 長谷川 直子 植田 健一
- 6月28日 石澤 扶有子 林 道治
- 7月26日 金井 宏之 松原 克朗
- 8月23日 越智 秀也 野崎 尚宏

## 政治連盟目黒支部の活動 2024.3～2024.8

- 3月27日 政治連盟目黒支部正副支部長会を開催
- 4月14日～同20日  
目黒区長選候補者の選挙活動応援
- 4月25日 政治連盟目黒支部定期大会を開催
- 5月29日 東京行政書士政治連盟定期大会に参加
- 6月20日～同6日  
都知事選候補者の選挙活動応援
- 8月26日 目黒区自民党区議団に要望書を提出
- 8月30日 目黒区公明党区議団に要望書を提出

47

編集後記



■ 今回は一般支部会員にとっては会う機会が少ない本会宮本会長へのインタビューを特別企画として行いました。本号を読まれて本会への関心を高めていただければ幸いです。(村中)

■ 今年は能登半島地震に始まり、その後も各地で地震や台風の被害が相次いでいます。自然災害を前に人間は無力ですが、この時代を生きる者同士、寄り添う気持ちを持ちたいものです。(茂田)

■ 成年後見研修を受けています。高齢化社会において、成年後見の仕事は、世の中に必要とされる重要な仕事になるでしょう。まずは、効果測定を受けるまで真剣に学びます。(木佐木)

■ AIは手段であり、人様の痛み、苦しみ、悲しみは理解できません。原点は人と人との血の通った意思疎通であり、汗水垂らして働くことであり、緊急時に思い遣りをもって助け合えるか、人としての底力が問われます。私自身を律し、感謝の気持ちで精進致します。(伊藤)

■ 初めて長岡花火を観に行ってきました。震災復興祈願のために始まったフェニックスは特に圧巻で、涙が溢れました。自然はコントロールできませんが、皆が穏やかな毎日を過ごせるよう祈るばかりです。(竹松)

■ 宮本重則会長にインタビューするという貴重な機会を持つことができました。行政書士としての使命を改めて感じるとともに、先人の皆さんの努力で職域が広がってきたことを実感しました。(片山)



発行人 中島貴史  
発行所 〒152-0002  
東京都目黒区目黒本町6-22-3-201  
Tel.03-6824-6896  
編集人 東京都行政書士会目黒支部  
村中 巴 / 茂田陽子 / 木佐木慶子  
伊藤 究 / 竹松千明 / 片山雅文



[https://  
www.meguro-gyosei.com](https://www.meguro-gyosei.com)